

環境活動レポート 2013

(運用期間：2014年1月～2014年7月)

2014年10月31日 作成

株式会社スリーピングサービス

目 次

1. 会社の概要
2. 事業内容
3. 環境方針
4. 2013年度実績と2014年度環境目標
5. 2014年度環境活動計画
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 施設等の状況
 - (1) 収集運搬車両の状況
 - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
 - (3) 処理施設の種類等
 - (4) 処理工程図
 - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
10. 地域貢献活動の今

1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邊 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 551,346千円(2014年7月期)

【従業員数】 35名

【事業所、敷地面積】

- (a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1
298㎡ TEL. 042-597-6112
- (b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10
801㎡ TEL. 042-597-6111
- (c) 立川支店 東京都立川市高松町3丁目8番4号ファーレTKT2階
44㎡ TEL. 042-527-2066
- (d) 南多摩支店 東京都稲城市東長沼1735番地7エクセル稲城104号
17㎡ TEL. 042-370-0068
- (e) 武蔵野支店 東京都西東京市芝久保町3丁目15番24号メゾン芝久保103号
13㎡ TEL. 042-452-0232
- (f) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1
3,544㎡ TEL. 042-597-6112

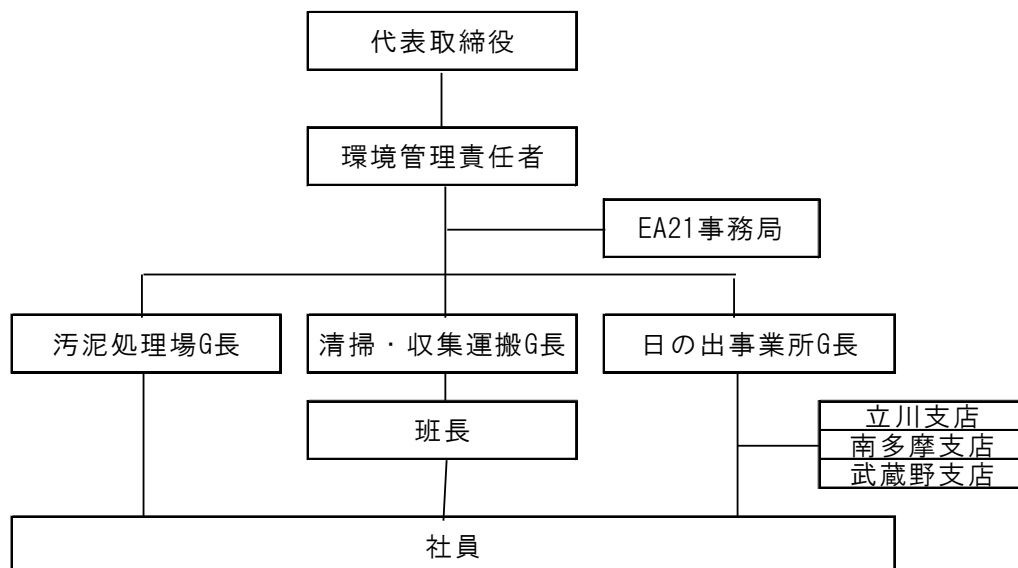
【エコアクション21対象事業所】

全社

【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次
事務局 顧問 土方 清孝
TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

【組織図】



2. 事業内容

- 【事業内容】 (1) 廃棄物処分業務（汚泥処理）
 産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、保管積替
 一般廃棄物の収集・運搬
- (2) 清掃・維持管理業務
 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、
 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、
 処理施設の保守管理

【優良性基準適合認定】

認定の区分	産廃プロフェッショナル	
業の区分	収集運搬業（積替え保管含む）	中間処理業
認定番号	1-13-E0044	1-13-F0037
有効期間	平成25年12月20日～平成28年3月31日	

【許可の内容】

<産業廃棄物収集運搬業>					許可品目											
No	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	リット・陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉄くず	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成26年2月1日	平成31年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	神奈川県	01400005352	平成24年8月22日	平成29年8月21日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
3	埼玉県	01101005352	平成26年10月27日	平成31年8月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
4	千葉県	01200005352	平成24年11月21日	平成29年11月20日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
5	山梨県	01900005352	平成25年10月23日	平成30年10月22日		●		●	●	●	●	●	●			●
<産業廃棄物処分業>																
6	東京都	13-20-005352	平成23年7月23日	平成28年7月22日		●										
<一般廃棄物収集運搬業>					許可品目											
7	福生市	第2516号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	事業系一般廃棄物											
8	瑞穂町	瑞住生許可第12-3号	平成26年9月20日	平成28年9月19日	缶・ビン・紙くず・木くず											
9	青梅市	許可収・運第68号	平成26年10月1日	平成28年9月30日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
10	檜原村	26許可第3号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物											
11	羽村市	許可一廃収第31号	平成28年9月26日	平成28年9月25日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
12	日の出町	25日生第12270号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
13	あきる野市	あ環生収第445号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
14	奥多摩町	奥住第194号	平成26年10月29日	平成28年10月28日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
<建築物飲料貯水槽清掃業登録証明書>					備考											
15	東京都	9貯第1429号	平成24年4月10日	平成30年4月9日												
<建設業許可>					業の区分											
16	東京都	東京都知事許可（般-23）第115850号	平成23年8月15日	平成28年8月14日	土木工事業、とび・土木工事業、管工事業、造園工事業、水道施設工事業											
<浄化槽保守点検業者登録通知書>					備考											
17	東京都	浄保（8）第230号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
18	八王子市	八浄保第19-9号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
<浄化槽清掃業許可証>					備考											
19	あきる野市	あ環環収第627号	平成26年4月1日	平成28年3月31日												
20	日の出町	26日生第9918号	平成26年4月1日	平成27年3月31日												

3. 環境方針

環 境 方 針

<基本理念>

株式会社スリーピングサービスは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通じて地域社会に快適な生活環境を創造し、汚泥処理の分野で「環境に貢献する企業」を目指します。

<行動指針>

1. 環境負荷の継続的改善
エコアクション21を積極的に運用し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 法令遵守
当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動への取組み
当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。
 - (1) 環境負荷の削減
省エネルギー・省資源
 - (2) 環境取組の推進・向上
グリーン購入の推進
環境美化の推進
リサイクルの推進
4. 実施態勢の確立と環境教育
エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。
5. 環境目標の設定
この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

制定 2014年1月1日

株式会社スリーピングサービス

代表取締役 田邊 昌志

4. 2013年度実績と2014年度環境目標

重点施策	項目	区分	単位	基準年 2012年度	2013年度					2014年度	2015年度	2016年度	
					目標	実績	増減	達成率(%)	評価				
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	二酸化炭素 排出量削減(*)		kg-CO2	217,562	216,901	218,604	△ 1,704	99.2	×	218,383	218,000	217,614
		軽油燃料 消費量削減	清掃・収集運搬G	リットル	63,331	63,139	63,253	△ 114	99.8	×	63,189	63,063	62,936
		電力 使用量削減	日の出事業所G	KWh	110,691	110,351	113,377	△ 3,026	97.3	×	113,263	113,150	113,036
		上水使用量削減	汚泥処理場G	m ³	3,302	3,106	2,027	1,079	153.2	○	2,024	2,022	2,020
	1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	全社	kg	(2013.10 測定:108t)	1,292	617	675	209.3	○	615	613	611
		産業廃棄物削減	全社	kg	-	リサイクル	0	-	-	-	リサイクル	同左	同左
2. 環境取組の推進・ 向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入率 の向上(金額)	全社	%	18.0	18.0	18.0	0	100.0	○	19.0	20.0	21.0
	2.2 受託した産業廃棄物の 環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場G	-	-	選別向上策 立案	立案	-	-	○	持出量の削減	-	-
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価 (臭気)	汚泥処理場G	-	-	6月実施	・7月実施 ・騒音測定を6 月以降毎月実施	-	-	○	測定項目を 「騒音」とし 毎月測定	同左	同左
		地域貢献活動	全社	-	-	年12回実施	年11回実施	-	-	×	毎月実施	同左	同左
	2.4 全従業員の参加	教育・説明会	全社	-	-	年2回実施	3回実施 (1・4・5月)	-	-	○	年2回実施	同左	同左

(*)：二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2011年度排出係数0.464kg-CO₂/kWhを使用した

5. 2014年度 環境活動計画

<環境活動方針>

今年度は、環境経営システム「エコアクション21」導入後初めての12か月フルの活動期間となる。社員ひとり一人が「PDCAサイクル」を回し、環境活動に積極的に取組むこと。

<重点施策>

- (1) 省エネ・省資源活動＝燃料・電力・上水の使用料削減・・・初年度の施策を継続する
- (2) 活動にあたっては「PDCAサイクルを回す」こと

【P:計画の策定】				【D:計画の実施】	
活動項目	目的	目標値	担当部門	実施方法 (詳細は個別計画参照)	
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	軽油燃料消費量削減	63,189 L 前年実績比0.1%削減	清掃・収集運搬G	1) アイドリングストップ・エコドライブ推進 2) 車両整備 3) 暖気運転の短縮・中止
		電力使用量削減	113,263KWh 前年実績比0.1%削減	日の出事業所G	1) 事務室・食堂の空調管理 2) 室内の照明→昼休み消灯 3) 自動販売機・給茶機の夜間電力使用抑制
		上水使用量削減	2,024m ³ 前年実績比0.1%削減	汚泥処理場G	1) 再生水の使用 2) 洗車時間の削減 3) 蛇口による削減
	1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	615kg 前年実績比0.3%削減	全社	1) 再生紙コピー紙の裏紙利用推進
		産業廃棄物削減	リサイクル促進	全社	1) 発生時リサイクルの徹底
2. 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入比率の向上 (金額ベース)	19.0%	全社	1) グリーン購入比率向上
	2.2 受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	持出量の削減	全社	1) 現状把握 2) 対策の立案とテスト 3) 効果の確認 4) 実施への課題整理
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価	騒音測定の実施と 規制値内の確認	汚泥処理場G	1) 騒音測定の実施
		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1) 毎月地域清掃の実施
	2.4 全従業員の参加	教育・説明会	自らの役割及び責任の自覚	全社	1) EA21の意義・重要性の周知徹底

【PDCAサイクル】

P:計画の策定 (Plan)

活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること (責任者)
活動計画を全社員に周知する (環境管理責任者)

D:計画の実施 (Do)

実施方法＝個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること (社員全員)

C:取組状況の確認及び評価 (Check)

毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する (責任者)
3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する (環境管理責任者)

A:全体の評価と見直し (Action)

前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す (責任者、環境管理責任者)

6. 環境活動計画の取組結果とその評価と今後の取り組み

(1) 軽油燃料消費量の削減

- ・ アイドリングストップ、暖気運転の短縮等エコドライブを実践しましたが、目標は未達（達成率99.8%）となりました。これは4月より新しく路面清掃事業が始まったため、作業車の稼働が多くなったためです。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

(2) 電力使用量の削減

- ・ 目標未達（達成率97.3%）となりました。省エネルールを徹底しましたが、2013年5月に社屋建て替えを行い、基準年とした2012年とはエアコン設置台数等電力使用環境が変化しました。
- ・ 目標値の設定に課題は残りますが、2014年度は12か月通期の実績を把握する期間とし、基準年の見直しは行いません。
- ・ 2014年度も省エネルールの徹底に取り組みます。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 軽油燃料、電力ともに目標未達のため二酸化炭素排出量の削減も未達（達成率99.2%）となりました。
- ・ 2014年度も活動計画の達成に取り組みます。

(4) 上水使用量の削減

- ・ 作業員全員の節水意識の高まりを背景に、再生水使用のタイミングをお互いに連絡を取り合い、効率よく利用できたことにより大幅な削減（達成率153.2%）が実現出来ました。
- ・ 洗車時間をタイマー設置で社員自身が管理しやすくしたことも効果的でした。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

(5) 一般廃棄物の削減

- ・ 活動計画に取り上げたコピー紙の裏紙利用促進とマイカップ持参、ペーパータオルの廃止に加え、新たに段ボール・雑紙をリサイクルとした効果が大きく現れました（達成率209.3%）。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。また、汚泥処理施設でのゴミの分別を開始します。

(6) 産業廃棄物の削減

- ・ 2013年度は、自社産業廃棄物は発生していません。
- ・ 今後発生の際は、リサイクルの促進に取り組みます。

(6) グリーン購入率の向上（金額ベース）

- ・ 事務用品のグリーン購入を積極的に進め、名刺を再生紙に全面的に切り替えました。他に、衛生用品等少額品もグリーン製品を導入しました（達成率100%）。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

(7) 3Rの推進

- ・ 路面清掃汚泥の3R推進をテーマに対策を検討しましたが、より効果の大きい中間処分業における「持出量の削減（処理委託量の削減）」を2014年度のテーマとし、対策を検討します。

(8) 環境アセスの実施

- ・ 2013年度は自主的な生活環境影響評価として、「臭気」の測定を第三者機関に依頼し実施しました。同時に騒音測定器を購入し、「騒音」の自主測定を開始しました。
- ・ 2014年度は汚泥処理施設の「騒音」測定を自社にて毎月1回行います。

(9) 地域貢献活動

- ・ 対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。2013年は天候不順の影響により、実施出来ない月が1回ありました。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

(10) 教育・説明会

- ・ 2013年度は①EA21導入時、②3ヶ月間のトライアル実績報告、③最終処分場の視察報告と3回行いました。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

(11) カーボンオフセットへの取り組み

- ・ 2011年度以降、事業活動に伴うCO₂排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・ バウンダリ（対象範囲）は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO₂排出量とし、国内クレジットを行っています。
- ・ 2013年度はCO₂排出量は292,750kg-CO₂、CO₂償却量は293,000kg-CO₂でした。
- ・ 2014年度も同様に取り組みます。

7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- (1) 「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、法律・条令について違反はありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 当環境レポートは、エコアクション21の認定に向けた試行期間3ヶ月とその後の4ヶ月、合計7か月間の報告である。
- ・ 前回報告の通り、社員の環境に対する意識は向上しつつあると評価します。
- ・ 環境関連法規の遵守を基本とし、環境活動計画の重点施策とした軽油・電力・上水使用量の削減は、上水使用量を除きわずかであるが目標を達成することが出来ませんでした。これは4月以降新事業の受注により軽油使用量が増加したことにあります。重点施策以外では、自社一般廃棄物の削減、グリーン購入の推進他目標を達成しました。
- ・ この他、生活環境影響評価として取り組んだ「臭気」に続く「騒音」測定は、自社測定の継続により貴重なデータが集積出来るものと期待しています。
- ・ 2013年度は、期中での環境経営システムエコアクション21の導入となったため、その活動期間は7ヶ月間でした。
2014年度は大きな見直しは行わず、本年度の諸活動を継続し、目標達成に向けた施策を通じて、社員全員に「環境活動」が定着するよう求めます。

9. 施設等の状況

(1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	E C Oドライブ
高圧洗浄車	3t	1	密閉式タンク車	○	○
	4t	1			
吸引車	2t	4			
	4t	2			
	5t	1			
	8t	1			
ダンプ車	10t	2			
	2t	1			
	4t	1			
アームロール車	4t	1	—		
路面清掃車	-	1		規制対象外	

(2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

積替え保管施設の面積	保管上限量		
	3,543.6㎡	廃プラスチック類	8㎡コンテナ1個
紙くず		同上	8㎡
木くず		同上	8㎡
繊維くず		同上	8㎡
金属くず		同上	8㎡
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		同上	8㎡

(3) 処理施設の種類の種類等

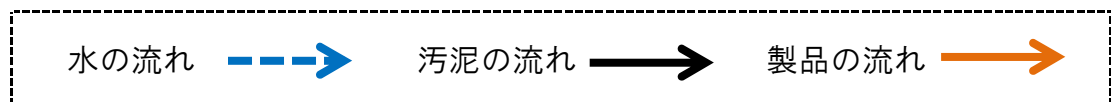
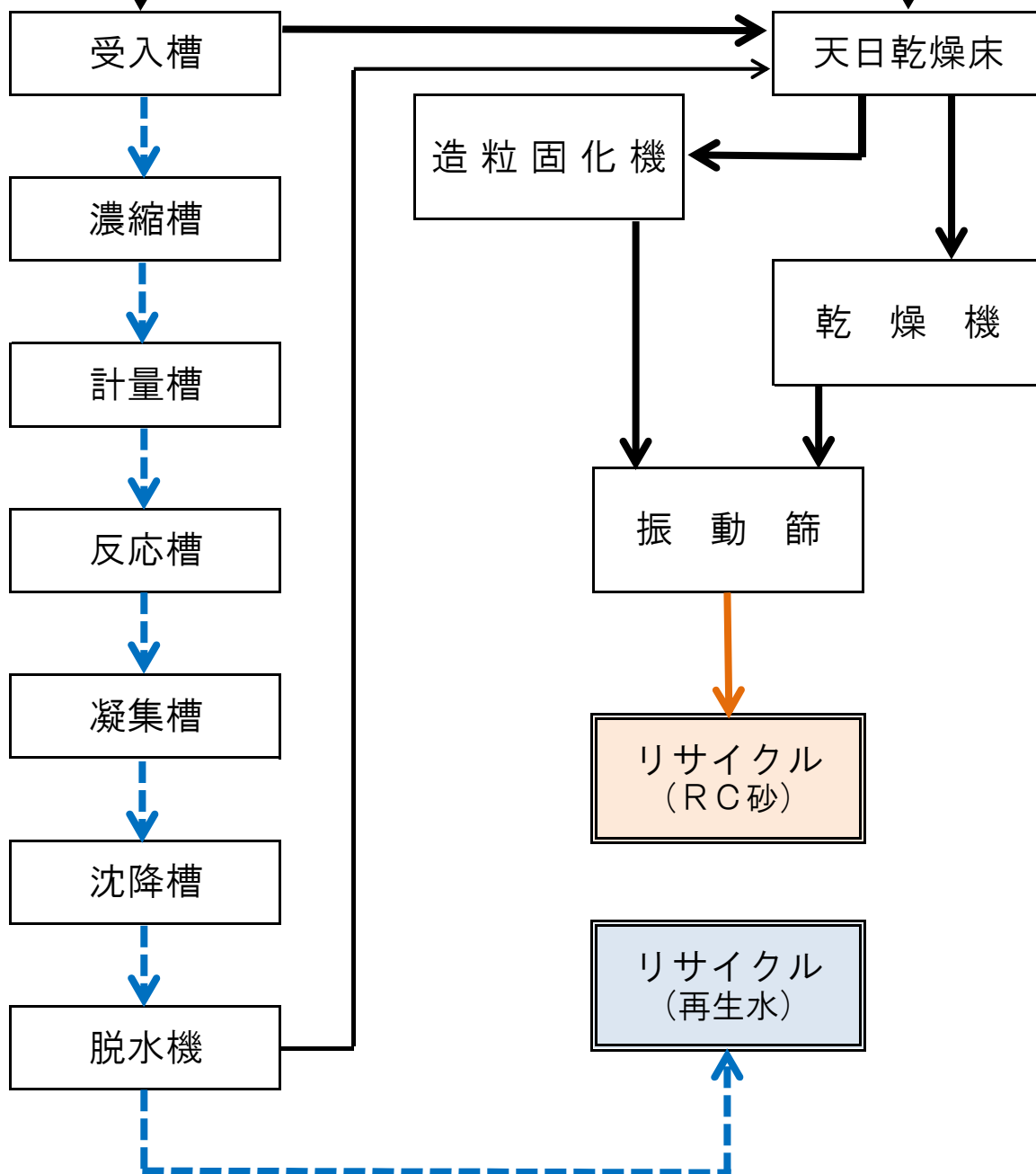
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
天日乾燥	汚泥（管渠清掃, 道路・公園等の清掃に係るものに限る）	7.5㎡/日
造粒固化		240㎡/日
脱水生物処理	汚泥（有機性のものに限る）	8㎡/日
回転乾燥	汚泥（自社処理後のものに限る）	8㎡/日

(4-1) 処理工程図

汚泥(道路・管渠清掃等)
[含水率多い]

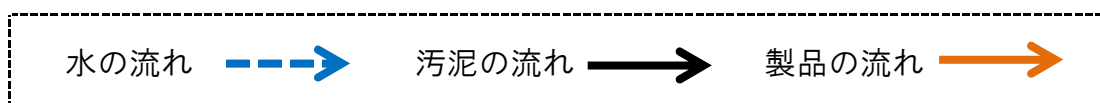
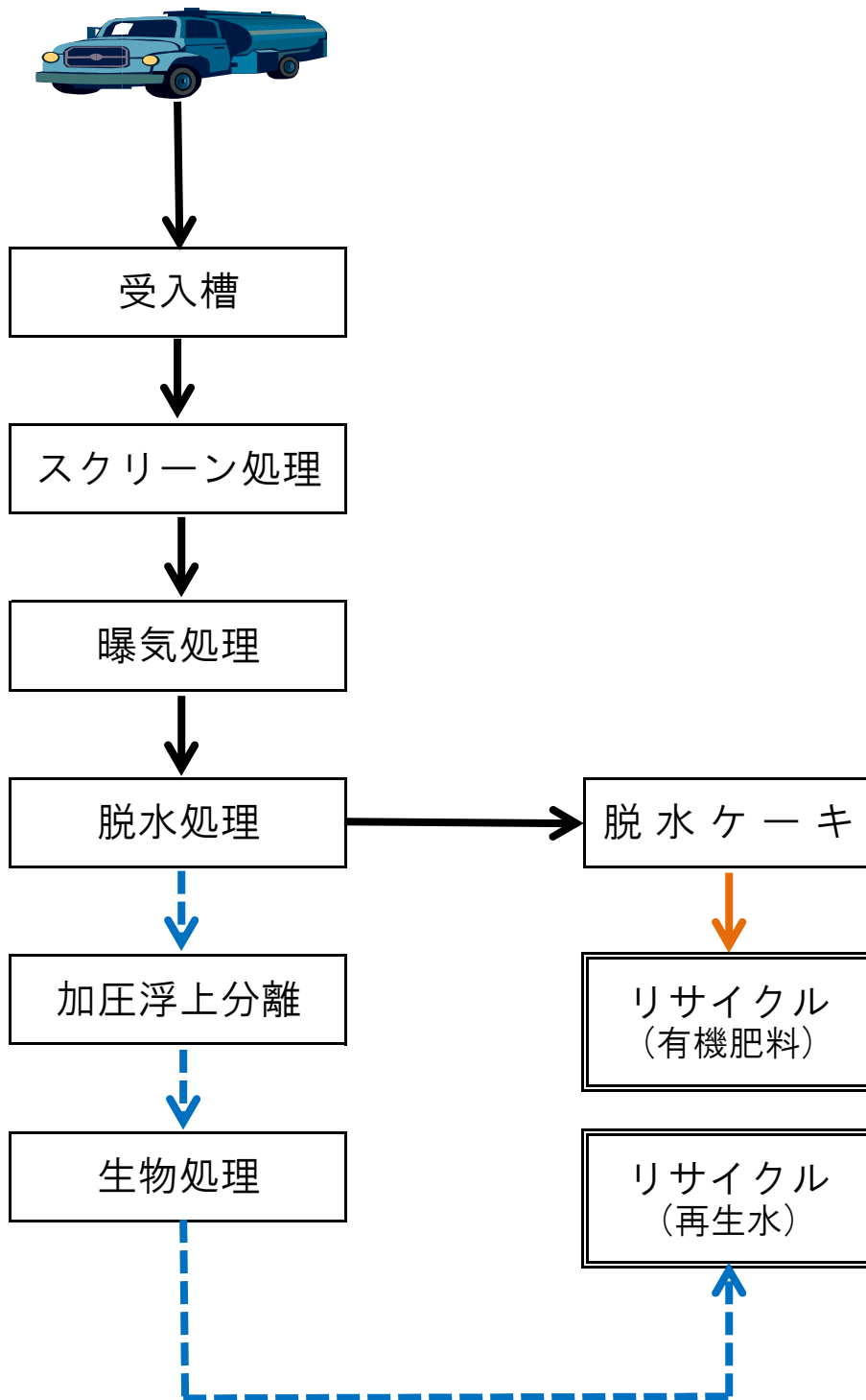


汚泥(道路・管渠清掃等)
[含水率少ない]



(4-2) 処理工程図

汚泥(動物・植物性の油泥)



(5) 処理実績

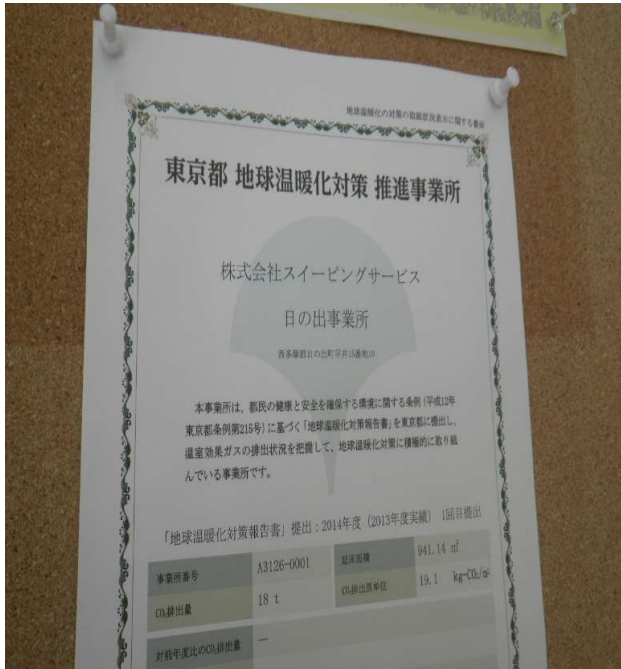
処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量t (8月～7月)				
				2011年 H23年	2012年 H24年	2013年 H25年		
産業 廃棄物	一般 廃棄物	(i) 収集運搬	し尿合計	1,067	907	870		
		(i) 収集運搬	廃プラスチック類		28	5	10	
	紙くず			9	7	4		
	木くず			3	1	1		
	金属くず			9	1	2		
	ガラス他			579	0	0		
	廃油			90	115	119		
	汚泥			7,437	8,621	8,590		
	合計			8,155	8,750	8,726		
	(ii) 中間処理		汚泥		9,533	9,824	11,233	
		うち 再資源化等	汚泥		3,736	5,314	6,224	
		合計			9,533	9,824	11,233	
	(iii) 最終処分		-		0	0	0	
		合計			0	0	0	
	(iv) 中間処理 後の産業廃棄物	最終処分	汚泥	安定型最終処分 (委託)	170	206	273	
			小計			170	206	273
		再資源化等	汚泥	リサイクル 製品化		2,646	3,309	4,128
			汚泥(肥料用)			70	58	58
			汚泥(コンクリート 固化用)			396	482	638
			廃プラスチック類	再資源化 (委託)		27	91	40
木くず					0	117	321	
ガラス・がれき類				869	1,018	785		
小計			4,008	5,075	5,970			
合計			4,178	5,281	6,243			

10. 環境活動の今

- (a) 地球温暖化対策の状況を東京都に報告する「地球温暖化対策報告書制度」に取り組んでいます。
 (b) 毎月行っている近隣の清掃活動の様子です。(a)と共に玄関ロビーに掲示しています。

(a)

(b)



- (c) 分別内容をわかりやすく明記し、ゴミ箱近くに掲示しています。(写真は汚泥処理場)
 (d) 充電式電池の回収BOXを設置しました。

(c)

(d)



[ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL : <http://www.sweeping.co.jp>

[連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記のエコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局
メールアドレス : eco21@sweeping.co.jp
電話 : 042-597-6111 FAX. 042-597-6115